

授業科目

経営学

担当教員名 柴山 純一	対象学年	1	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	

授業の概要

我々の生活は、企業活動と密接に結びついている。我々が生活において必要としている様々な物資やサービスは、ほとんどが企業から提供されている。多くの人は、それを購入するための資金を企業で働くことによって獲得している。企業活動の安定と発展は、社会の安定と発展のために不可欠である。

学問領域としての「経営学」は、この企業活動を研究対象としており、第一にそのメカニズムの解明をおこない、第二にこれを基礎にして、健全な企業活動の推進のための方策を提示する。

授業の目的

企業活動全般について基本的な要点を学習し、これから「経営学」を詳しく勉強していくために必要な基礎的な知識の理解する。

学習目標

以下の項目についての基礎的な知識を習得する。

- 1) 企業活動の基盤である市場経済の特徴と企業の基本的機能
- 2) 企業活動の基本的内容
- 3) 企業活動を支える会社制度、とりわけ株式会社制度

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	§1 私たちと企業、経営学はどんな学問か (1) 私たちの生活と企業活動	講義	柴山 純一
2	§1 私たちと企業、経営学はどんな学問か (2) 企業活動の構造と経営学、理論としての経営学	講義	柴山 純一
3	§2 企業活動の基盤 (1) 私有財産制度	講義	柴山 純一
4	§2 企業活動の基盤 (2) 市場の機能と種類	講義	柴山 純一
5	§2 企業活動の基盤 (3) 市場の形態	講義	柴山 純一
6	§2 企業活動の基盤 (4) 企業活動と国民経済	講義	柴山 純一
7	§3 企業活動の誕生 (起業) (1) 企業活動のビジョン	講義	柴山 純一
8	§3 企業活動の誕生 (起業) (2) 企業活動の実行体制	講義	柴山 純一
9	§4 企業の成長と競争戦略 (1) 事業分野のライフサイクルと企業活動の重点	講義	柴山 純一
10	§4 企業の成長と競争戦略 (2) 競争戦略	講義	柴山 純一
11	§4 企業の成長と競争戦略 (3) 企業活動の長期性	講義	柴山 純一
12	§5 株式会社制度(1)法人と会社	講義	柴山 純一
13	§5 株式会社制度(2)株式会社の設立	講義	柴山 純一
14	§5 株式会社制度(3)株式会社の運営	講義	柴山 純一

15	§5 株式会社制度(4)株式会社の資金調達	講義	柴山 純 —
----	-----------------------	----	-----------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ゼミナール 経営学入門 第3版	伊丹敬之、加護野忠男	日本経済新聞社	2003年	3,240円	
	経営学への招待 第3版	坂下昭宣	白桃書房	2007年	2,808円	
	経営学	小松章	新世社	2006年	2,484円	
	日本のスタートアップ企業	米倉誠一郎(編)	有斐閣	2005年	2,592円	
	ゼミナール会社法入門 第7版	岸田雅雄	日本経済新聞社	2012年	3,780円	
その他の資料						

評価方法

定期試験 50%

講義時不定期に行う課題、および、学習姿勢 50%

履修上の留意点

私語等、他学生の学習の妨げになる行為は出席として扱わない。

オフィスアワー・連絡先

時間が取ればいつでも可能ですが、あらかじめメール等で連絡をもらえると助かります。

場所 ; IA507、連絡先 ; shibayama@nuhw.ac.jp